

令和4年度 都農町立都農東小学校・内野々分校 学校関係者評価書

学校経営ビジョン

- 確かな学力の向上 ○豊かな心の育成
- 健やかな身体の育成 ○地域とともにある学校

【評価基準 4段階評価 4:期待以上 3:期待通り 2:やや期待を下回る 1:改善を要する】

重点指導項目	方法・手立て	評価内容 (児童:児 職員:職 保護者:保)	自己評価		○数字:学校の自己評価コメント・改善点 □:学校評議員の評価	
			児 職 保	総合		
て 確 かな 学 力 の 向 上 を め ざ し	①「わかる・できる」授業の実践	・職員研修の充実 ・学力タイム等の取組	児:授業は、わかりやすいですか。 職:全教科において、「わかる・できる」授業が実践できているか。 保:子どもは、授業が分かりやすいといっているか。	3.6 2.5 3.8	3.0	①授業が分かりやすいという児童の評価が高い。引き続き、ICT 機器の意図的・効果的な活用を含めた授業改善を図り、学力向上に努めていく。 ②家庭学習については、職員と保護者の評価が低い。家庭学習の方法や内容を見直し、児童一人一人の理解状況や能力・適正に合わせていく。 ③読書については、児童や保護者の評価が低い。学校での読書の機会を確保し、親子読書の在り方等にも改善を加えて、日常的・定期的に読書に取り組む環境を整えていく。 □学力向上には読書が必須だと思うが学力テスト等で苦手な教科の明確化を行いレベルアップを期待する。
	②家庭学習の充実	・家庭学習カードによる取組 ・家庭学習の日常的な支援	児:おうちでは、すすんで勉強をしていますか。 職:家庭学習の充実を図ることができているか。 保:子どもは、進んで家庭学習に取り組んでいるか。	3.2 2.3 2.8		
	③読書活動の推進	・読書タイムの設置 ・読書月間の取組	児:本をよく読んでいますか。 職:読書への関心を高め、様々な分野の本に親しませているか。 保:子どもは、読書をよくしているか。	2.8 3.1 2.7		
を め ざ し て 児 童 が 楽 し い と 感 じ る 学 校	④生徒指導・特別支援教育の組織的な対応	・組織体制の構築 ・初期対応の実施	児:学校は、楽しいですか。 職:特別支援教育の充実を図り、全ての子どもを伸ばすことができたか。 保:子どもは、学校が楽しいといっているか。	3.5 2.4 3.4	3.1	④学校が楽しいと答えている児童・保護者の評価が高い。困り感のある児童への支援を行うとともに、すべての児童に適切な支援が行えるような研修を深め、実践していく。 ⑤友人関係が良好という評価に比べて職員の評価は低い。今後も、児童一人一人に傾聴し、いじめの早期発見・解決に努め、他者を尊重する心を育てていく。 ⑥児童・保護者のあいさつの評価に比べて、職員の評価は低い。職員が手本となるあいさつを示し、あいさつの大切さを指導しながら、児童の変容を図っていく。 □あいさつは当たり前のことであるが、家庭生活も含め当たり前のことがしっかりとできるような指導をお願いしたい。 □学校が楽しいと思えることはいいことだと思う。
	⑤いじめ・不登校0の取組	・日常観察・教育相談の充実 ・あすなる会での共通理解	児:たくさんのお友だちとなかよくできていますか。 職:いじめの早期発見と早期解決に努めているか。 保:子どもの友人関係は、良好であるか。	3.5 2.9 3.3		
	⑥あいさつの励行	・日常的な指導の徹底 ・地区別交通集会の取組	児:進んで大きな声であいさつができていますか。 職:児童は進んで挨拶をしているか。 保:子どもは、気持ちよいあいさつをしているか。	3.3 2.8 3.1		
し て た く ま し い 身 体 の 育 成 を め ざ し	⑦感染症・病気の予防、安全面	・検温・マスク着用・うがい・手洗いの徹底、日常の安全指導 ・歯の治療の啓発	児:病気の予防や安全に気を付けて生活していますか。 職:感染症や病気の予防について、指導の充実が図られているか。 保:子どもは、感染症や病気の予防や安全面に努めているか。	3.5 2.9 3.3	3.0	⑦病気の予防・安全面については、総じて評価は高い。引き続き、病気の予防に努めさせるとともに、虫歯の治療率を上げ、日常の安全意識も高めていく。 ⑧生活習慣の確立については、職員や保護者の評価が低い。早寝・早起きのメリットを情報発信して共通理解を図り、望ましい生活習慣の確立を目指す。 ⑨よく運動をしているという児童が多いが、職員の評価は低い。体育科学習の時間の運動量を確保したり、朝の運動の時間の種目を学期ごとに変えたりして、体力の向上を図る。また、体育科学習の時間には、運動の楽しさを体験させる機会を増やす。 □家庭生活の様々な体験が重要と思われるので、学校・家庭・地域がしっかりと連携を図ってもらいたい。
	⑧生活習慣の確立	・さわやかタイムの実施 ・家庭への啓発	児:早ね、早おきができていますか。 職:児童は「早寝・早起き」など健康的な生活習慣を身に付けているか。 保:子どもは、早寝・早起きの習慣が身に付いているか。	3.0 2.5 2.7		
	⑨体力の向上	・体育の時間の指導法の工夫 ・朝の体育活動の取組	児:よく運動をしていますか。 職:体力向上プランをもとに、柔軟性や走力の向上が図られているか。 保:子どもは、進んで運動をしているか。	3.4 2.5 3.0		
地 域 と と も に あ る 学 校 を め ざ し て	⑩体験活動の充実	・生活科・総合的な学習等の取組	職:地域の人材を可能な範囲で活用し、体験活動の充実を図っているか。 保:学校は、体験活動に積極的に取り組んでいるか。	2.7 2.9	2.8	⑩体験活動については、本年度も新型コロナウイルス感染防止の影響を受け、機会が減ったこともあり、職員の評価は低い。地域の人材を今まで以上に授業や行事において積極的に活用できるように、町教育委員会や地域コーディネーターと連携して取り組んでいく。 ⑪キャリア教育については、職員の評価が特に低い。キャリア教育の年間計画を見直し、地域との方とのZoom会議を検討するなど、学習形態の工夫等しながら、総合的な学習の時間を中心に深めていく。 ⑫情報の発信については、職員の評価がやや低いが、まちコミメールやホームページを中心に定期的に情報を発信したりしている。また、各担任からは学級通信を通して学級の様子等を定期的に発信している。 □課題も多いが、学校運営協議会委員もまず一つでもできることを実践できるとよい。 □地域との関りが以前より薄いのでキャリア教育をどう進めていくかが課題である。
	⑪家庭・地域との連携	・キャリア教育の推進	職:キャリア教育を推進して、地域との連携を図っているか。 保:学校は、地域との連携が図られているか。	2.5 2.9		
	⑫積極的な情報の発信	・文書の配付やホームページによる情報発信	職:家庭や地域に積極的に情報を発信しているか。 保:学校は、教育活動の様子を家庭や地域に積極的に発信しているか。	2.8 3.1		

※ 「地域とともにある学校をめざして」の自己評価は、職員と保護者のみの結果である。